

事業シート(令和2年度決算)

事業名	21800 環境都市推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	1	総務管理費		根拠計画		環境基本計画		
			目	19	環境政策費						
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地球環境の保全と市民の環境意識の向上及び具体的な行動や参画を促す。	概要	・環境審議会の開催 ・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催 ・市民等による自然エネルギー利用の普及啓発
----	------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	45.597MWh	未確定	90,000MWh
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	28.7%	45.1	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,860	758	4,770	4,770	3,032	2,274
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		1,860	758	4,770	4,770	3,032	2,274
個票枝番	主な事業内容						
	環境審議会	410	167	410	410	164	△ 3
	自然エネルギーによるまちづくり検討委員会	600	340	600	600	0	△ 340
	森のエコハウス施設修繕等	500	143	500	500	94	△ 49
◎ 1	環境政策顧問の設置			3,000	3,000	2,640	2,640

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

		R3予算		実施計画額	
		要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
		4,330	4,330	4,330	△ 440
		4,330	4,330	4,330	△ 440
査定額	説明				
410					
530					
500					
2,640					

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・環境審議会の開催(2回) ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催(2回) ・高山エネルギー大作戦子ども大学等の参加者 53人 ・木質バイオマスによる熱供給事業の視察者 241人
評価等	・国の第五次環境基本計画への対応や第八次総合計画との整合を図るため、第3次環境基本計画の中間見直しを行い、地球温暖化に伴う「気候変動影響リスクの低減」を基本施策に位置付けた。 ・子ども大学など、自然エネルギーに関する講義や体験を通じて、子ども達にエネルギーや環境に関心を持ってもらうことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・環境基本条例及び環境基本計画の基本理念、将来像の実現に向けた取り組みを推進する。 ・自然エネルギー利用日本一の環境都市をめざし、自然エネルギーの導入と省エネルギー対策の推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・環境審議会の開催(2回) ・木質バイオマスによる熱供給事業の視察者 47人 ・環境政策顧問による、環境政策・まちづくり政策など重要政策の推進を図るとともに、各施策を立案・実行していける職員研修を実施(4回)
評価等	・新型コロナウイルス感染症の影響により、各種会議やイベントなどを計画通り開催することができなかった。 ・環境政策顧問については、人口急減社会における市としての対応や課題の抽出、問題解決、政策立案の手法などに関するスキル習得につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	・環境基本条例及び環境基本計画の基本理念、将来像の実現に向けた取り組みを推進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・自然エネルギー利用と普及啓発の推進に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	21800 環境都市推進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	環境政策部 環境政策推進課
枝番・内容	1 環境政策顧問の設置		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	2	総務費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線		2282
		<input type="checkbox"/>		目		19	環境政策費	作成年月		R3.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・高度で専門的な外部の知見を積極的に活用し、環境政策・まちづくり政策など重要政策の推進を図るとともに、各施策を立案・実行していける職員の人材育成を行う	概要	・環境部門、建築・建設部門、都市計画部門、企画部門から5名程度職員を選考し、年4回の研修(集中講義、ワークショップ)を開催
----	---	----	---

【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	3,000
主な経費	環境政策顧問謝礼	
対前年度増減額(当初予算)		3,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	3,000
	繰越	
	補正等	
	最終	3,000
決算額		2,640
対前年度増減額(決算)		2,640

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	2,640
主な経費	環境政策顧問謝礼	
対前年度増減額(当初予算)		△ 360

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・環境政策顧問による研修の開催(年4回)
[スケジュール]	・環境政策顧問委嘱(4月) ・受講職員の選考(4月) ・研修の開催(6月、10月、12月、1月)

事業実績・評価等	
[事業実績]	・環境政策顧問による研修の開催(6月、10月、11月、2月 計4回)
[評価等]	・環境政策顧問研修については、人口急減社会における市としての対応や課題の抽出、問題解決、政策立案の手法などに関するスキル習得につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・環境政策顧問による研修の開催(年4回)
[スケジュール]	・環境政策顧問委嘱(4月) ・受講職員の選考(4月) ・研修の開催(6月、10月、12月、1月)

事業シート(令和2年度決算)

事業名	21840 地球温暖化対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	1	総務管理費		環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画				
			目	19	環境政策費		根拠計画				
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・クリーンエネルギー自動車の普及促進などにより低炭素社会の形成を図る。	概要	・電気自動車用充電設備の設置によるクリーンエネルギー自動車の普及促進
----	-------------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	11.4万トン	未確定	12.4万トン
化石燃料から自然エネルギーへの転換量(年間)	4,783kl	未確定	9,000kl

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		6,150	5,695	6,000	6,000	5,566	△ 129
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(雑入)		146			153	7
一般財源		6,150	5,549	6,000	6,000	5,413	△ 136
個票枝番	主な事業内容						
	電気自動車用急速充電器の設置・運営	6,150	5,695	6,000	6,000	5,566	△ 129

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		6,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
6,185	6,110	6,110	110	
6,185	6,110	6,110	110	
査定額	説明			
6,110				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 急速充電器利用台数 5,231台 水素ステーションの誘致 1カ所
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 経路充電、緊急充電として利用されており、走行中にCO2を排出しないEV自動車の普及促進に寄与している。 水素ステーションの誘致や公用車への燃料電池自動車の導入により、市内における新たな次世代自動車の普及促進につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 運輸部門の省エネルギーを推進するため、引き続き、EV等の次世代自動車の普及促進を図る。 地球温暖化対策地域推進計画の見直しを行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 急速充電器利用台数 4,133台
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 経路充電、緊急充電として利用されており、走行中にCO2を排出しないEV自動車の普及促進に寄与している。 令和2年度に計画期間満了となった高山市地球温暖化対策地域推進計画について、国の脱炭素に向けた大きな動きを見極める必要があったため、計画の見直しを翌年度に延期した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 運輸部門の省エネルギーを推進するため、引き続き、EV等の次世代自動車の普及促進を図る。 国の脱炭素に向けた各種指標や施策の動向を注視しながら、高山市地球温暖化対策地域推進計画を策定する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・クリーンエネルギー自動車の普及促進に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	21850 生物多様性保全推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	1	総務管理費		根拠計画		環境基本計画、生物多様性ひだたかやま戦略	
			目	19	環境政策費					
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> その土地本来の生態系の保全や里地里山の保全と利用の推進などにより、生物多様性の保全を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境学習や山の自然学校による自然保護の必要性の啓発や自然と親しむ機会の提供 土地本来の木を植樹する「いのち森づくり」の実施 特定外来生物に関する知識の普及や防除活動の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
特定外来生物防除活動団体数	17団体	12団体	-
特定外来生物防除活動参加者数(延べ人数)	304人	226人	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		10,185	7,416	9,185	9,185	7,326	△ 90
特定財源	国費()						
	県費(生物多様性保全推進事業費 10/10)		3,898			3,902	4
	その他()						
一般財源		10,185	3,518	9,185	9,185	3,424	△ 94
個票枝番	主な事業内容						
	乗鞍山麓五色ヶ原の森を活用した自然環境学習	3,500	2,075	2,700	2,700	2,287	212
	いのちの森づくり(苗木植樹等)	1,700	827	1,050	1,050	848	21
	特定外来生物の防除・啓発	4,550	4,000	5,000	5,000	3,941	△ 59

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		9,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
10,102	9,185	9,185	0	
10,102	9,185	9,185	0	
査定額	説明			
2,500				
1,450				
4,500				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境学習の開催 20校 949人 山の自然学校の開催 4回 121人 いのちの森づくり植樹の実施 24人 特定外来生物講習会、出前講座の開催 7回 143人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を市内小中学校が積極的に行った。 特定外来生物防除講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。 市内民間企業との連携により植樹が行われるなど、新たないのちの森づくりの取り組みが進められた。 生物多様性ひだたかやま戦略の見直しを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き自然環境学習の機会を提供するとともに、市民による主体的な生物多様性保全の取り組みにつながるような働きかけを進める。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境学習の開催 14校 563人 山の自然学校の開催 4回 32人 いのちの森づくり植樹の実施 26人 特定外来生物講習会、出前講座の開催 3回 40人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を市内小中学校が積極的に行った。 特定外来生物防除講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。 市内民間企業との連携により植樹が行われるなど、新たないのちの森づくりの取り組みが進められた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業を計画通り開催することができなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き自然環境学習の機会を提供するとともに、市民による主体的な生物多様性保全の取り組みにつながるような働きかけを進める。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性の保全と啓発に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
-------------------	---

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに
--------------	--

事業シート(令和2年度決算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・国立公園、県立自然公園、白山ユネスコエコパーク、ジオパーク構想(地球科学的にみて重要な自然遺産を含む、自然と親しむための公園)などを活用し、自然環境の保全意識向上と自然とふれあう機会を充実します。等
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	2	観光費		根拠計画		環境基本計画		
			目	3	自然公園費						
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域特有の自然資源や希少動植物、自然公園等の保全と利用の推進などにより、自然環境の保全と活用を図る。	概要	・国立公園、県立自然公園等の適正利用やユネスコ世界自然遺産、ジオパーク、ユネスコエコパークの取り組みを進める。 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森や既設の登山道、自然公園施設の維持管理を行うことにより、適正な利用と利用者の安全確保を図る。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	28.7%	45.1	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2		(千円)	
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		97,816	93,942	116,664	116,664	111,340	17,398
特定財源	国費(中部山岳国立公園活性化事業費1/2)	8,250	8,188	7,250	7,250	7,250	△ 938
	県費(乗鞍スカイライン道路/パトロール事業委託金10/10等)	13,680	15,417	23,050	23,050	23,652	8,235
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	1,100		400	400	400	400
一般財源		74,786	70,337	85,964	85,964	80,038	9,701
個票枝番	主な事業内容						
	乗鞍山麓五色ヶ原の森の保全・管理	23,290	22,330	24,310	24,310	23,654	1,324
	乗鞍スカイラインの適正利用の推進	34,310	33,874	34,420	34,420	34,955	1,081
	エコパークの推進	1,000	1,004	1,000	1,000	859	△ 145
	ジオパークの推進	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	0
	登山道管理	9,980	10,636	28,690	28,690	28,519	17,883
	県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金	12,500	9,952	12,500	12,500	8,100	△ 1,852
	乗鞍山麓五色ヶ原の森 新規ルートの整備	1,149	1,244				△ 1,244

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

		R3予算		実施計画額		98,000	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
109,667	96,409	96,409	△ 20,255				
7,250	0	0	△ 7,250				
13,900	13,710	13,710	△ 9,340				
			△ 400				
88,517	82,699	82,699	△ 3,265				
査定額	説明						
33,910	指定管理委託料、山小屋修繕費等						
23,410							
990							
14,500							
9,950							
12,500							

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み 2,095人 乗鞍スカイラインの入り込み推計 102,094人 乗鞍フォーラムを開催し、約90人が参加 乗鞍早期開通事業を開催し、280人が参加 山の日制定記念ガイドツアーを開催し、22人が参加 白山ユネスコエコパーク荘川体感ツアーを開催し、22人が参加 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会による活性化事業の実施 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 国立公園満喫プロジェクトや岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会など、国、県、関係団体等との連携が強化され、持続可能な地域活性化に向けた体制強化が図られた。 乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森の利用者増加に向け、国、県、地域と連携を図りながら入り込み増加につながる取り組みを進める必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について、エコツーリズムの視点による利用促進のあり方に関する検討を進める。 中部山岳国立公園及び周辺地域については、中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会や岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会、飛騨山脈ジオパーク推進協議会のほか、地元関係団体等と連携を図り、一体的な自然保護と地域活性化の取組みを推進する。 	

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み 2,629人 乗鞍スカイラインの入り込み推計 11,545人 山の日自然公園ガイドツアーを開催し、91人が参加 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会による活性化事業の実施 乗鞍山麓五色ヶ原の森が第16回エコツーリズム大賞(環境大臣賞)を受賞 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 国立公園満喫プロジェクトや岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会など、国、県、関係団体等との連携が強化され、持続可能な地域活性化に向けた体制強化が図られた。 自然体験やエコツーリズムへのニーズが高まり、乗鞍山麓五色ヶ原の森については前年比125%の入込を達成した。 新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨に伴う被災の影響などにより、自然公園内の観光施設や山小屋等の運営に多大な影響を及ぼした。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について、エコツーリズムの視点による利用促進のあり方に関する検討を進める。 中部山岳国立公園及び周辺地域については、中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会や岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会、飛騨山脈ジオパーク推進協議会のほか、地元関係団体等と連携を図り、新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、一体的な自然保護と地域活性化の取組みを推進する。 松本高山Big Bridge構想実現プロジェクトの取組みを推進する。 	

担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森登山道等の修繕に必要な経費を計上 ジオパーク、ユネスコエコパークに対する市民理解の醸成に向けた取り組みに必要な経費を計上 中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化の推進に必要な経費を計上
--------------	---

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり